

---

# 逃走中×ガンダム00

カテゴリーF

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

逃走中×ガンダム00

### 【Nコード】

N9258Z

### 【作者名】

カテゴリーF

### 【あらすじ】

機動戦士ガンダム00の登場人物達が金の為に走る……。不定期更新となります。予めご了承下さい。

## 逃走者紹介

参加者の簡単な紹介とミッションへの姿勢

刹那・F・セイエイ

人類初の純粹種のイノベーター。ミッションには必ず参加する。

ロックオン・ストラトス（ライル・ディランディ）

他のガンダムマイスターと違い普通の人間。ミッションには積極的。

アレルヤ（ハレルヤ）・ハプティズム

二重人格の超兵。ミッションには積極的。

ティエリア・アーデ

ヴェーダがつくりだしたイノベイド。ミッションには積極的。

スメラギ・李・ノリエガ

CBの戦術予報士。ミッションはCB男性陣に任せている。

ラッセ・アイオン

トレミーの操舵士兼砲撃士。ミッションには積極的。

フェルト・グレイス

トレミーのオペ娘。刹那に絶賛片思い中。ミッションはCB男性陣に任せている。

ミレイナ・ヴァステイ

トレミーのオペ娘。劇場版にてティエリアに告白したが返事はまだ貰っていない。ミッションはCB男性陣に任せている。

アニユー・リターナー

トレミーの操舵士兼船医。ミッションへの参加はライル次第。

マリー・パーファシー（ソーマ・ピールス）

アレルヤと同じく二重人格の超兵。ミッションへの参加はアレルヤ次第。

グラハム・エーカー

ソルブレイヴス隊隊長の元フラッグファイター。ミッションには必ず参加する。

ビリー・カタギリ

地球連邦軍技術顧問でグラハムの盟友。ミッションはグラハムに任せている。

ミーナ・カーマイン

宇宙物理学者。ミッションへの参加はビリー次第。

カティ・マネキン

地球連邦軍准将。ミッションはCB勢やパトリックに任せている。

パトリック・マネキン

幸せのコーラサワー。カティにアピールするためにミッションには必ず参加する。

セルゲイ・スミルノフ

地球連邦軍大佐。ミッションへの参加は状況次第。

アンドレイ・スミルノフ

地球連邦軍大尉でセルゲイの息子。ミッションには積極的。

デカルト・シャーマン

刹那と同じ純粹種のイノベーター。ミッションへの参加は気分次第。

マリナ・イスマイル

アザディスタン第一皇女。ミッションは人任せ。

クラウド・グラード

地球連邦政府議員。ミッションへの参加は状況次第。

シーリン・バフティヤール

マリナの元側近。ミッションへの参加は状況次第。

沙慈・クロスロード

かつてCBに参加した経験をもつ。ミッションには消極的。

ルイス・ハレヴィ

かつてアロウズに所属していた。ミッションは人任せ。

リボンス・アルマーク

2ndシーズンのラスボス。ミッションへの参加は気分次第。

ヒリング・ケア

リボンスと同タイプのイノベイド。ミッションへの参加はリボンス次第。

リヴァイヴ・リバイバル

アニューと同タイプのイノベイド。ミッションへの参加は状況次第。

リジエネ・レジエッタ  
テイエリアと同タイプのイノベイド。ミッションへの参加は状況次第。

アリー・アル・サーシエス  
リボンスに雇われた傭兵。ミッションへの参加は状況次第。

## プロローグ(前書き)

オープニングゲーム前の話です。

## プロローグ

（地球某所）

「ヴェーダが指定したポイントはここか……」

刹那・F・セイエイは携帯端末を片手にその地に立っていた。刹那だけでなく、他のガンダムマイスターやトレミーのブリッジクルーもいる。彼らも刹那と同様にヴェーダの指示でこの場にいる。

「なんだ？ただのテーマパークじゃねえか」

「そうね……」

「楽しそうですう」

ロックオンがぼやき、アニューがそれに同調する。そしてミレイナは浮かれているようだ。

彼らが居る場所を一言で言うなら「夢と魔法の国」だ。その証拠にいたるところにネズミのマスコットキャラクターを模したマークがある。

ソレストルビーイングメンバーが話し合っていると、そこに近づく新たな人影が3つ現れる。

「よもや君たちに出会えようとはな」

「久しぶりだねクジョウ」



グラハム・エーカー、ビリー・カタギリだ。ビリーの腕にはミーナ・カーマインが抱きついている。そして彼らの登場を皮切りに続々と人が集まってくる。

「大佐、ここみたいですよ」

「准将だ。いい加減覚えろ」

「お前もこのような場所で遊びたかったか？」

「……いえ、そうは思いませんでした」

「息抜きができそうだ」

パトリック・マネキン、カティ・マネキン、セルゲイ・スミルノフ、アンドレイ・スミルノフ、デカルト・シャーマンだ。

「今日は楽しめそうね」

「そうだね、ルイス」

「子供たちも連れて来たかった……」

ルイス・ハレヴィ、沙慈・クロスロード、マリナ・イスマイールだ。マリナの両隣にはクラウス・グラードとシーリン・バフティヤールがいる。さらには……

「リボンス、今日はデートね」

「お手柔らかに頼むよ」

ヒリング・ケアとリボンス・アルマークだ。彼らのすぐ後ろにはリヴァイヴ・リバイバル、リジエネ・レジエッタ、アリー・アル・サーシエスの姿も見える。

「随分賑やかになってきたね……ん？」

アレルヤ・ハプティズムが呟くと、自身の持っている携帯端末に通信が入る。

「通信か？」

「ヴェーダからだな」

アレルヤだけでなく、この場に集まった者全員にヴェーダから通信が来たようだ。

「ここに集まった総勢28人でゲームを行う」

「ハンターと呼ばれる者から逃げる鬼ごっこか……望むところだと  
言わせてもらおう」

「制限時間は2時間」

「一秒経過することにより1000円ずつ賞金が加算される……最後まで逃げきれれば720万円か。無理矢理呼び出されて癩だったが、まあやっつてやるか」

「ただしハンターに確保された場合、賞金は0。ゲームから脱落……」

…」

「どつやら我々に拒否権はないようだ。やるしかあるまい」

各々送られてきた文面を読んでいく。

「ハンターってこいつらか？」

パトリックが言うと皆がそれに注目する。そこには黒服に黒いサン  
グラスの4体のハンターが封印されたボックスと色が全て異なる2  
8本の鎖がある。

「まずオープニングゲームというものをやるようだな」

通信端末の画面を見ながらティエリア・アーデが言った。ハンター  
ボックスに注目していた面々も再び端末に視線を移す。

オープニングゲームのルールは本家逃走中と同じく好きな色の鎖を  
選び、一人ずつ引いていく。その中にはハンターボックスを解放す  
る「ハズレ」の鎖が二本あり、それを引いた時点でタイマーが動き  
だしゲームスタートとなる。  
鎖を引く順番は以下の通り。

- 01 ・グラハム・エーカー
- 02 ・フェルト・グレイス
- 03 ・パトリック・マネキン
- 04 ・ビリー・カタギリ
- 05 ・ヒリング・ケア
- 06 ・沙慈・クロスロード
- 07 ・ロックオン・ストラトス

- 08 ・テイエリア・アーデ
- 09 ・シーリン・バフティヤール
- 10 ・デカルト・シャーマン
- 11 ・リヴァイヴ・リバイバル
- 12 ・アリー・アル・サーシエス
- 13 ・ミレイナ・ヴァステイ
- 14 ・リボンス・アルマーク
- 15 ・マリー・パーファシー
- 16 ・クラウス・グラード
- 17 ・刹那・F・セイエイ
- 18 ・セルゲイ・スミルノフ
- 19 ・カティ・マネキン
- 20 ・リジエネ・レジエッタ
- 21 ・アレルヤ・ハプティズム
- 22 ・スメラギ・李・ノリエガ
- 23 ・ルイス・ハレヴィ
- 24 ・ミーナ・カーマイン
- 25 ・ラッセ・アイオン
- 26 ・アンドレイ・スミルノフ
- 27 ・アニュー・リターナー
- 28 ・マリナ・イスマイル

「一番手は私か」

早速グラハムが鎖へ近づいていく。他の面々はその様子を遠巻きに見物している。

いよいよオープニングゲームが始まるが、その様子はまた次回。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9258z/>

---

逃走中×ガンダム00

2011年12月29日14時45分発行